



2023.Apr

CONTENTS

02 [巻頭特集]



題字:沖岡山県立大学長の揮毫

「未来型思考×地域力」を付加した雑草型人材育成

予測不可能で急速な変化が生じる未来社会において、多種多様な環境圧をバネにする未来型思考と地域力を有した 『雑草型人材』を育成することにより「高い専門性と幅広い人間力に立脚した地方創生を担うたくましい人材」を育てる。



◆プロジェクト内容

企業が直面している"現場の課題"を 解決するために、若手の社員と学生・院 生でチームを構成し、その中で協働した 実践的な演習を行います。(企業の幹部 と大学の教職員がサポート)



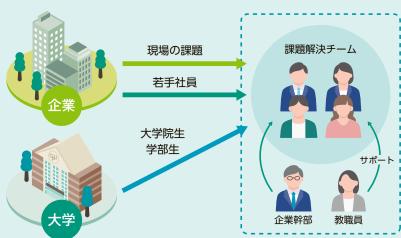
際の課題に取り組む演習科目です。

とした創造戦略プロジェクトを設けています。どちらもPBLをベースとした、企業等と協働して実 して育成する教育プログラムとして、学部4年次生を対象とした未来型プロジェクトと大学院生を対象

岡山県立大学では、「県内産業発展に寄与できる人材」を出口

(就職先企業)

と一体となって協働



課題テーマ 3つの分野 食・栄養・健康に関するテーマ

ICT・ものづくりに関するテーマ

木材・建築・デザインに関するテーマ

所属の学部・研究科に関係なく、興味関心の高いテーマを選択できます。 まずは、履修登録を!!

未来型プロジェクト

対象:学部4年次生 10日程度企業で演習+10日程度学内で指導(連続でなくても可)

創造戦略プロジェクト

対象:大学院1・2年次生 20日程度企業で演習(連続でなくても可)



6月 キックオフ・ミーティング (プロジェクト勉強会)

プロジェクトを進めるために事前にみんなで 「プロジェクト」を学びましょう。

履修登録

副専攻「吉備の杜」のオリエンテーションに 参加して、履修登録してみよう!



◆PBL演習とは

PBL(Project Based Learning)とは、文部科学省が推進するアクティブラーニングのひとつです。日本語では「問題解決型学習」「課 題解決型学習」などと訳される学習方法です。 PBL型教育とは、実社会で即戦力として活躍できる人材を育成するために有効な教育 手法であり、学生が明確な目標を掲げ、できるだけ実際の業務の内容に近い1つのプロジェクトを完成させていくプロセスの中で、実 社会で真に役立つスキルやノウハウを修得していくというものです。

成果報告会

企業と協働して取り組んだプロジェクトに ついて、学内で成果報告会を開催します!



プロジェクトのまとめとして、社内プレゼン等 を実施し、プロジェクトの完了を確認します。



成果報告会には、岡山県下の企業の方にもご案内 し、多くの方々の前で報告します。数カ月にわたっ て、取り組んだプロジェクト成果を披露しましょう。



マッチング先の受入企業へプロジェクト指導教員 とプログラムディレクターが同行して、プロジェ クトの進め方について共有します!



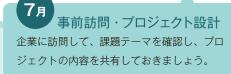
プロジェクトの締めとして、社内プレゼンを実施 しました。企業からフィードバックをいただき、 学内の成果報告会に向けて、ブラッシュアップ!



学部4年次生は延べ10日間、大学院生は延 べ20日間のプロジェクトがスタートします。



昨年度のキックオフ・ミーティングでは、プロジェ クトの目的共有のため、学生と教職員がワールド カフェを用いた意見交換を行いました。





企業視点のPBL演習はどう見えていた?





Profile

たぐち 田 口 ひろあき 博章 株式会社タグチ工業 代表取締役社長

2013年タグチ工業に入社。安田工業(里庄町)に1年間出 向した後、タグチ工業に戻り重機型巨大口ボット(SPG) の制作指揮にあたる。2020年12月よりタグチ工業代表取 締役社長に就任。趣味はスポーツ観戦、好きな芸人は千鳥。

建機用アタッチメントの製造メーカー。ガジラ、グラス クサカルゴンなど岡山市にある本社で設計された製 品は50種以上にのぼり、国内15カ所にある自社工場で製 また全国に営業所を開設し、独自に販売網を構築して います。

> 概ねみなさんが同じぐらいの意識で 長したいという学生さんなのですが、

目的意識もはっきりしていて純粋に成

ギラ感のある学生さんがいても面白い 少しぐらい目立とうとするようなギラ

地獄?のアメリカでの演習経験 んとできる」いい先輩ですよ。 持っている雰囲気が今の県大生のイ

た県大卒の社員がいます。その社員が かと思いますね。実は3年前に採用し

メージですね。「教えられた事はきち

るのか」「どのように資金調達するのか」 を作りたいのか」「どのような顧客に売 といった計画を立て、 ありました。 それは、最初の半年で「何 チーム4人で1年をかけて行う演習が に計画を実行するというものです。 工学を学びました。4年生の時、 私は、高校を卒業後アメリカで機械 残り半年で実際

段階になると、今まで培ってきたいろ れてはNGの連続でした。いざ、製作 作った計画に何かしらの理由をつけら 他の授業も受けながらなので魔の1年 ですよ。さらに担当の教授が厳しく ただ、それが地獄なんです(笑)。

る学生」というイメージがあります。 含め、県大生には「聞く耳を持ってい 過去2年演習に参加した学生さんを 役に立つのか」と。

県大生のイメージ

「仕事は人のために」を今から学べ-

という意識を持ち、人に喜んでもらう らえません。「仕事は人のためにある 通じて経験して欲しいです。 も喜ばないですし、誰からもお金はも える大変重要なことです。自分だけで とでした。これは今の学生さんにも言 は、「顧客が見えているか」というこ ように解決するのかをプロジェクトを ために、身に付けた知識を使ってどの (課題が) 解けた!」と満足しても誰 結果、私がアメリカで気づいたこと

今誰のために何をしないといけないの うちに揉まれていることで、「自分は 味は、そこにあるのではないかと思い 生のうちにプロジェクトを経験する意 か」を考えられる大人になれます。 トチェンジが必要となります。学生の から「顧客がいる」という意識のシフ 社会人になるにあたり、「自分主軸

学生でしか、学生だから

て、何を身に付けたいか」を意識して にあたり、「自分には、何が足りなく す。だからこそ、プロジェクトをする 学生なのだからまだ完璧ではないで した。「あの授業はこういうところで いろな知識が活かされることを知りま

おいて欲しいですね。ただ、足りない

たは今後どうしますか?と聞きたい かが見えてきますから。そこで、あな ら、今度は今後の学生生活で(社会人 と思います。プロジェクトが終わった 通じて自分の価値を高めていけばいい るのがプロジェクトであって、それを ません。その足りないものを身に付け こと自体は今の時点では問題ではあり になるまでに)補うべきものが何なの

将来に繋げて欲しいです。 時間なので、あらゆることを学んで、 こそ、自分で自分に向き合える貴重な 「ゴールデンタイム」です。この時期 今の大学生活は誰からも縛られない

う! 今の仕事に活かされています。 の時にアメリカで得た学びと気づきが いっしょに日本を元気にしましょ 私もちょうどみなさんと同じぐらい



事をしてほしいです。

ですから

らない価値観こそがこれから必要な力

の提案」を期待しています。型にはま

人と人のつながりを築く

開しています。演習の中で、そういっ で目標を達成しよう」を軸に事業を展 の17番目にあたる「パートナーシップ た自社の考え方や雰囲気を感じてもら 内容でした。我々は、SDGsの目標 献しているかを可視化していくような ラルフーズがSDGsへどのように貢 取り組んだプロジェクトは、 セント

出ても、人と人のつながりを大切にし、 話を伺う機会を設定しました。社会に る企業や施設を訪問し、様々な人にお えていたらうれしいですね。 演習でも自社のステークホルダーであ すICT化が進んでいます。 た時代であっても、 、クトルを合わせながら、心に響く仕 活躍できると信じています。 A-やロボットなどますま 人にしかできない そういっ



Profile

せのお 妹尾

ゆたか

株式会社セントラルフーズ 業務開発部第2営業部長

1999年に入社。アルバイト配達員、配達責任者を 経て、現在、新規開拓営業部長として従事。広島県生 まれ(熱狂的な赤ヘルファン)、嫁さんは1人、最近 毎月プチキャンプで自然を眺めて癒されています。

平成14年創業、岡山県を中心に幼稚園・保育園・ 小中学校給食を基幹業務とし、自然派給食を通じて こどもたちの笑顔づくりを行う食のちから創造業。 安心・安全面は、管理栄養士がHACCPに基づい て新しい衛生管理として従事。

> す。今回、令和4年度のプロジェクト そういった場はいくらでも提供できま 構造を知りたいなどの要望があれば

考え

寺社建造物の伝統構法から学ぶ

伝統構法に興味があって、その

古い建物に興味があ

答えがないものほど無限の可能性

このPBL演習で「3択問題の4択目 ます。だからこそ、今の学生さんには 変えなければならない時なのだと思い 代もあったのですが、その既成概念を をしてきました。それで良しとする時 ずと思って、 の企業は、 もしれないということです。これまで の の選択肢には最善の答えがなく、 に思えますが、「答えのない」ことが した。3択問題で例えると、 になるのではないかと思い、 逆にワクワク感を呼び、新たな原動力 に取り組みました。一見、難しい内容 今回、明確な「答えのない」テーマ 「4択目」に本当の答えがあるのか 選択肢の中に答えがあるは その答えに向かって仕事 実は3つ 設定しま 未知

terview

ロジェクトであったと思います。伝統

いうことで、学生さんらには、大変なプ

建築がどういう風にできているか、ど

はあまり目にしない伝統建築の構造と

実測に携わってもらいましたが、普段

プロジェクトでは、実際に、神社の

も大きな収穫でした。

貴重な経験、時間となりました。 また した。若い人が少ない弊社にとっても 方に対して「新たな気づき」 がありま に参加してみて、学生らの発想、

大学との人的ネットワークが築けたの



Profile

たけうち としはる 武内 紀陽

株式会社藤原組 営業部 兼 管理部 部長

異業種を複数経験し、2019年に地元岡山に戻り 入社。現在、営業兼社内及び社外管理として従事。 業界問わず様々な人の話を聞くのが好き。

会社概要

昭和19年創業、岡山県を中心に文化財建造物保存 修理を基幹業務とし、神社仏閣の新築・増改築、古民 家再生、環境整備を行う総合建設業。文化財建造物 保存修理においては、自社で職人を抱え、直営工事 として施工。

実務に触れる経験が活きる 今後役に立つのかなとは思いま

ういう風に組みあがっているかを知る には、良い機会であったかと思います。 実務的なことも勉強できてい

身の学生時代を思い出すとみなさんと ても優秀です。 本当に真面目だなぁと感じました。 番印象的だったのは、「県大生」 最後に、今回のプロジェクト参加で、 自 は

いですね。 演習を通じて、 いった意味でも、「吉備の杜」のPBL れる機会は増えると思います。そう います。今後、より古い木造建築に触 を利用していただきたいと思いました。 あると思いますので、こういった機会 いけない。外で勉強できることも多く 匠設計になっていると説明できないと う構造になっているから、こういった意 伝えきれないこともあります。こうい で打ち合せするときでも、 要になってくるでしょう。実際に現場 やって話を詰めていくかというのも必 とも増えてきますし、 したね。 耐震などの面でも、注視されて 木造の建物が見直され、 建築士になれば折衝で 木造建築に触れて欲し お客さんとどう 絵だけでは 関心も



令和5年度から大学院クロスセクションは、「研究科クロスセクション」と改称し、6科目から新たに13科目に拡充されます。

また、創造的思考力養成群、課題解決力養成群、スキル養成群にカテゴリ化されました。 「研究科クロスセクション」は、高年次でリベラルアーツを学べる教育プログラムで、

業種の枠を超えた産業人材として必要な能力を育みます。

また、専門の枠に囚われることなく、本質を見極め、自ら考え、自ら行動できる、

地域で必要とされるヒューマンスキルの獲得を目指します。

さらに、社会人の皆様にもリカレント教育として受講できます。



課題解決力養成

時事と歴史を読む

現代社会における諸問題は 様々な要素が複雑に絡み 合っており、歴史的背景を ふまえて論点を整理しない と課題解決に向けた思考に は結びつかない。

本科目では、地域課題と地 方創生、東京一極集中、疾 病差別、雇用問題など現代 社会の諸課題について、歴 史を踏まえてその成因を理 解し、課題の本質を探究す ることを学びます。

サステイナブルな 社会に生きる

変動する社会、経済、環境問題に対し、環境に配慮した持続可能な社会やライフスタイルの実現に向けた基盤づくりを、SDGs・エネルギー問題・食糧問題の基礎知見を会得した上で、政府の重点課題や岡山県の取組み例から考えます。

ローカル・ イノベーション

全国的な課題となっている 人口減少、地方の存続危機 に対し、地方が持っている 独自の価値と、地方の維 持・価値向上の取り組みに ついて学び、地方が抱える 課題を「小さなイノベー ション」で解決するための 具体的な方法について論じ ます。

高等教育を基盤とした 社会人基礎力養成

本科目は、学んでいる基礎 知識や応用知識などを独自 の知恵に結び付ける「思考 力」や知恵を実践するため に絶対的に必要な「対人力」 などの総合的な能力向上を 目的とし、将来に社会など で活躍するための社会人予 備教育の一環として実施し ます。

災害医療援助論

実際の災害医療の現場での 活動にかかわる講義、また 生死について考える時間を 設け、災害に直面した人々 への洞察も深めます。

人命、医療、災害について 多角的に考える視点を身に 付けます。

スキル養成

データアナリティクス

情報通信技術の進展を背景に、様々なデータが有効活用されています。このような時代には、どのような職業に就いても、ある程度のデータ分析力やデータに基づいた合理的な判断が求められます。

本講義では、データの処理・分析を学び、抵抗なくデータをハンドリングできる素養を身に付けることを目標とします。

災害医療援助論演習

演習授業を通じて災害医療 の現場で柔軟な考え方と限 られた状況での対処の仕方 などを学び、多くの企業、 団体や地域の方々と「困っ たときはお互いさま」の精 神で人との繋がりを通じて 多くの方との連携と協力を 学んでいきます。医療に限 らず様々な人の協力がある 事を学びます。

アカデミック・ プレゼンテーション演習

本科目では、自身が取り組 む研究内容を整理し、効果 的に他者に伝える方とはま い、オーラルプレゼンテ ションでは紙面や時間の がある中で、いかで表 るかということが求フテンと なって、コンテンと なって、コンテンに なって、カトを を対してではな なって、カーシン かにそうしたコンテン、いかにそうしたコンテット があるかというデリバリーに ついても取り組みます。

アカデミック・ ライティング演習

文章を論理的に組み立てて書くための執筆ルールや言葉の使い方を学ぶとともに、読解力・批判的思考力の向上を目指します。特に、身近な課題について考え、その課題に対する効果的な問いの立て方について受講生間でのディスカッションを行ったうえで、受講者各自が立てた問いに答える論文を執筆します。



New Crass Section DACS



大学院クロスセクション <令和4年度開講科目>

- ●時事と歴史を読む
- ●地域社会とビジネス
- ●地域資源学
- ●知の理論
- データサイエンス
- ●アカデミック・プレゼンテーション演習





研究科クロスセクション

<令和5年度開講科目>

創造的思考力養成

- ●知の理論
- ●地域経済をテリトーリオから考える (旧:地域社会とビジネス)
- テクノロジーとビジネスの変革
- ●デザイン思考

課題解決力養成

- ●時事と歴史を読む
- ●サステイナブルな社会に生きる
- ●ローカル・イノベーション (旧:地域資源学)
- ●高等教育を基盤とした社会人基礎力養成
- 災害医療援助論
- 災害医療援助論演習

スキル養成

- データアナリティクス (旧:データサイエンス)
- アカデミック・プレゼンテーション演習
- ●アカデミック・ライティング演習

創造的思考力養成

知の理論

単に具体的な知識について学ぶのではなく、知識は多種多様であることを認識し、「知識の本質」について批判的に思考して、「知識を獲得するプロセス」を探究することを目指します。

テクノロジーと ビジネスの変革

インターネット、スマート フォンに代表されるデジタ ルテクノロジーが私たちの 暮らしに大きな影響を与え ています。テクノロジーに より、人々の消費行動は変 わり、ビジネスも変化し続 けています。約半世紀のテ クノロジーとビジネスの変 革を中心に学び、来るべき、 創るべき未来について受講 者とともに考えます。

地域経済を テリトーリオから考える

テリトーリオとは地域の文化、歴史、環境などを包括する概念です。歴史や文化を学び、先人の作り上げた文化や歴史をどのように未来につなげて行くかを研究することは今を生きる私たちの責務と考えます。

本科目では「吉備の杜」を 作り上げた代表的先人たち について学び、加えて現代 の経済の概要を理解し、今 後どのように発展させるか を議論します。

デザイン思考

将来の予測が困難な「VUCAの時代」と呼ばれる現在、イノベーションとの親和性が高い「デザイン思考」への注目が高まっています。本科目では、デザイン思考の概略や背景を学ぶとともに、演習を通じて各プロセスを経験することで、より実践的な知見とマインドセットを学びます。



「吉備の杜」で多様な専門を学ぶ

学部3~4年次生を対象とした「吉備の杜クリエイター課程」における専門基礎科目群は、多様なラインナップ で構成されています。若者の地元定着と地域の活性化を図るため、地域と連携した産業人材教育プログラムです。 各サテライトプログラムで開講している専門基礎科目は、学部3年次生から履修が可能です。

学科の学生と教員が一堂に会して、傷病

"地域の未来を展望できる人材"を目指してはいかがでしょうか。

携について、実践的に学びます。

て最大限に貢献するための多専門職の連 者や悩みを抱えている相談者などに対し



温め羅ねる杜 食と栄養と健康を

できる研究者や高度専門職業人の育成を 食を通して、広く健康社会の発展に貢献

フードビジネス学

でのシステムについて学びます。 経営の現場から、食品の川上から川下ま 研究、商品開発、食品業界の品質管理や 流通、消費について、大学における共同

看護学科、栄養学科、現代福祉学科の3 チームガバナビリティ演習 食資源開発力に基づく食品の生産、加工

情報・製造系企業の第一線で活躍してい から、実例を含めて学修します。 て、ハードウエア・ソフトウエアの両面

地域 温め羅ねる杜 の CT技術を

持続可能な地域の産業拡大に、 安全・安

技術者の育成を目指します。 心な知能化をもって寄与できる

組込みシステム

システムとしての組込みシステムについ 家電製品等に組み込まれるコンピュータ

る講師による講義とグループワークを诵 判断力、想像力などを養成します。 し、技術者としての倫理観、問題意識

セキュリティ総論

仕組みを学修します。 を送受信するためのセキュリティ技術の 技術、インターネット上で安全にデータ データ秘匿化やユーザ認証のための暗号

保健・医療・福祉の専門的な視点から

地域保健福祉学演習

知的制御システム

習などを学修します。 を実現するためのファジイ制御や強化学 誤差伝搬法や連想記憶モデル、知的制御 脳内の知能的情報処理を実現するための

して、地域創生を実地に

に向けて地域関係者と協働する体験を通 握して、地域の課題を見出し、その解決 多様な背景をもつ住民の生活ニーズを把

て、心地良い住環境を生み出す能力を持 日本でも有数の木材産地の風土を活かし つ設計者の育成を目指します。



森林生態学・地盤工学

る基礎的な知識や理解力を養成します。 いて、専門の研究者により、環境に対す 人間生活を支える大地や森林の役割につ

建築の第一線で活躍する構造家・建築

木構造学・木構造デザイン

構造とデザイン構想力を養成します。 工法・デザインの講義・演習により、 家・研究者による、木構造の素材・力学・

環境デザイン演習

修士研究と連動したスキルを修得します。 集中的に行い、周辺環境から生まれる建築 GーSによる地理情報構築の基礎演習を を構想する基礎技術を修得し、卒業研究

真庭市における人工林と自然林の体験 ツアーを通じて、川上から川下へをつなぐ 木材の加工・木材実験見学、バイオマス 木の役割についての理解力を養成します

森林学・木材学演習

「吉備の杜」で若者と共創する学び

「吉備の杜」創造戦略プロジェクトでは、講義の一部を社会人にも開講するリカレント教育プログラムを構築しています。 受講方法は、実際に大学にお越しいただく対面、または、実際の講義を撮影した配信動画によるオンデマンドで受講できます。

・履修条件 下記の自治体、企業・団体及び団体の会員企業に所属している正規・非正規を問わない職員または社員

自治体 (順不同)

岡山県、真庭市、総社市、備前市、赤磐市、笠岡市、津山市、玉野市、井原市、瀬戸内市

企業・団体 (順不同)

山陽新聞社、RSK山陽放送、岡山県立大学協力会、岡山県食品新技術応用研究会、生活協同組合おかやまコープ、システム エンジニアリング岡山、岡山県建築士事務所協会、中国銀行、トマト銀行、岡山県中小企業家同友会、岡山県産業振興財団、 岡山県経済団体連絡協議会(加盟している岡山県商工会議所連合会:各商工会議所を含む、岡山県中小企業団体中央会、岡山県 商工会連合会:各商工会を含む、岡山県経営者協会、岡山経済同友会)

研究科クロスセクション科目は令和5年度から変わりました!

▶ 研究科クロスセクション科目(旧大学院クロスセクション科目)

<令和5年度開講科目一覧>

創造的思考力養成

- ●知の理論
- ●地域経済をテリトーリオから考える (旧:地域社会とビジネス)
- テクノロジーとビジネスの変革
- デザイン思考

課題解決力養成

- ●時事と歴史を読む
- サステイナブルな社会に生きる
- □□ーカル・イノベーション (旧:地域資源学)
- ●若手企業人材における各種実践能力の養成
- 災害医療援助論
- 災害医療援助論演習

スキル養成

- データアナリティクス (旧:データサイエンス)
- ●アカデミック・ プレゼンテーション演習
- ●アカデミック・ライティング演習

申込手続き



検索エンジンで

「岡山県立大学 学外履修者の募集」と検索する。



「学外履修者の募集 | 社会連携教育(副専攻)-岡山県立大学」をクリックする。



まずは、「募集チラシ」または「シラバス」を 確認して、履修可能科目を調べる。



次に、「募集要項」を確認し、「履修申込書兼 推薦書」の様式をダウンロードする。



「履修申込書兼推薦書」の 必要事項を記入し、

「吉備の杜」推進室宛てに送付する。



後日、「吉備の杜」推進室から 所属先宛に履修許可書を送付する。



所属先から履修希望者に 履修許可書が引き渡される。

申込受付期間

| 開講時期 | 申込締切 |
|-----------------|----------|
| 4月開講(前期・前前期・通年) | 前年度2月末まで |
| 6月開講(前後期) | 4月末まで |
| 9月開講(後期・後前期) | 7月末まで |
| 11月開講(後後期) | 9月末まで |

※手続きが遅れる場合は、 「吉備の杜」推進室まで ご一報ください。

受講料無料



副專攻

「吉備の杜」を理解する

副専攻制度

主専攻の専門教育以外の分野の知識や考え方を学ぶことで、 専門教育を補完するだけでなく、大学での修学意識がより高

ここでは、学部・学科・研究科、そして学内外の枠を超えた、 地域・企業と協働した学びの中で、社会や環境の様々な変化 に対応できる力を身に付けます。

吉備の国、「おかやま」を舞台に 主体的に学びを深める

創造戦略プロデューサー 【称号】

創造戦略プロジェクト

創造戦略プロジェクト <ICT>

創造戦略プロジェクト <森と木>

吉備の杜プロデューサー課程 [大学院 1~2年次生]

"現場で即戦力となる リーダーへ"

研究科クロスセクション

創造的思考力養成

- ●知の理論
- ●地域経済をテリトーリオから考 える(旧:地域社会とビジネス)
- ●テクノロジーとビジネスの変革
- ●デザイン思考

課題解決力養成

- ●時事と歴史を読む
- ●サステイナブルな社会に生きる
- ローカル・イノベーション (旧:地域資源学)
- ●高等教育を基盤とした社会人基礎●アカデミック・ライティング演習 力養成
- ●災害医療援助論
- 災害医療援助論演習

スキル養成

- ____ データアナリティクス (旧:データサイエンス)
- ▼アカデミック・プレゼンテー ション演習

【称号】 地域創生クリエイター

未来型プロジェクト

専門基礎科目

- ●フードビジネス学
- ●チームガバナビリティ演習
- ●地域保健福祉演習

食と栄養と健康を 温め羅ねる杜

未来型プロジェクト <ICT>

専門基礎科目

- ●組込みシステム
- ●技術者と社会
- ●セキュリティ総論
- ●知的制御システム

地域のICT技術を 温め羅ねる杜

未来型プロジェクト <森と木>

専門基礎科目

- ●森林生態学・地盤工学
- ●森林・木材学演習
- ●木構造学·木構造デザイン
- ●環境デザイン演習

森と建築と匠を 温め羅ねる杜

吉備の杜クリエイター課程 [学部 3~4年次生]

"地域の未来を 展望できる人材へ"



岡山創生学課程 [学部 1~3年次生]

"地域で活躍できる人材へ"

【称号】 地域創生推進十

課題発見と解決力の養成

協働とコミュニケーション

知る・見る・体験する

プロジェクトを通じた成長



未来型思考と 地域力を有した リーダーシップ



地域を知り 特徴を活かせる "創造者"



自ら考えて 行動する 高い人間力



企業×地域×大学の 連携と活性化



スペシャリスト としての 高い専門性



吉備の杜 を考える

持続可能な開発目標(SDGs: Sustainable Development Goals)は広く社会に認知され、学習 や社会貢献、ビジネスに不可欠な用語です。「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載され た、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲット から構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。

今回は、「吉備の杜」メンバーシップに加盟する中国銀行(ちゅうぎんフィナンシャルグル-におけるSDGsの取り組みについて、ご紹介いただきました。

> 生SDGsの取り組みを進めてい 行うことでグループ全体での地方創 取組意義を理解し、自律的な行動を ループ役職員一人ひとりがこれらの かな地域づくりの実現を目指し、グ 未来に向けた安心・安全、そして豊 向けて取り組んでいます。さらに、 業活動を通じたSDGsの実現に 行い、地域の課題に長期的な視点で向き合い、事 るという観点から、ちゅうぎんSDGs宣言を 展への貢献と企業価値の向上を目指しています。 展を目指すことが経営基盤の維持・拡大につなが 2020年3月には、地域社会の持続可能な発

食料ゼロを目指して立ち上がり、サステナブルな 域の魅力発信へ繋げた取り組みです。本取り組み 環資源として活用し、ウエットティッシュの商品 ち、従来は規格外として廃棄されていたものを循 組みです。地域の特産品であるぶどうやもものう た「赤磐産ぶどうのウエットティッシュ」の取り 山県赤磐地域の課題のうち食品口スをテーマとし の後押しをしています。例えば、岡 が抱える課題に対し、関係者と協力 しながら課題解決に向けた取り組み へと生まれ変わらせることで食品ロスの解決と地 中国銀行では、各地域やお客さま 赤磐市の地域おこし協力隊の方が地域の廃棄

商品開発に向き合う中、当行にご相談があった経

指してまいります

素などの取り組み推進に向けて、サステナブル え、お取引先の法人のお客さまのSDGSや脱炭 緯から、当行が商品化までの資金調達や協力者と また、近年は、気候変動問題を重要課題と捉

> 現代福祉学科 教授 岩満 賢次

サポートし企業価値の向上に貢献 ローン」やお客さまの脱炭素経営を 2022年3月に環境省や岡山大学 する「ちゅうぎん脱炭素コンサル 取り組み啓発を目的として、グルー を設立し、地域全体での脱炭素を通 など産学官金の相互連携による「地 ティング」などがあります。さらに、 ノ役職員一人ひとりが私生活におい した地方創生へ取り組んでいます。 ¤脱炭素創生・岡山コンソーシアム_ また、今年より社内のSDGsの

ものとして気軽に楽しむことができる取り組みを がると考えています。 募集し、社内公表することで組織の活性化にも繋 ンテスト」を実施しています。SDGSを身近な を対象とした社内向け「ちゅうぎんSDGsコ て実践しているSDGSの取り組み

上の好循環を生み出すことでSDGSの達成を目 により、地域社会の発展への貢献と企業価値の向 業活動や個人が積極的に SDGsに取り組むこと 中国銀行は、今後も地域の課題解決に向けて事 に求められるものとなるでしょう。 を支援するSDGSこそ、 SDGsではなく、 くなりがちです。販売戦略としての の他の部署に関心が及びにくくなりま 署で進める体制になりがちであり、そ ありますが、日常生活では関心が薄 境にもSDGSの要素を取り入れつつ す。また、企業の本来の製品や労働環





ちゅうぎんグループでは、地域のお客さまに「選







の引き合わせなどのご支援を行ったものです。 たSDGS・ESG目標の達成状況により金利が 取り組んでいます。例えば、お客さまが設定し ファイナンスなどの幅広い金融サービスの提供や コンサルティング機能の発揮を通じたご支援に

ステナビリティ経営の実践を通じた地域社会の発 を共創する」をグループ経営理念に位置づけ、サ として、「地域・お客さま・従業員と豊かな未来 ばれ」「信頼される」総合金融サービスグループ

変動する「ちゅうぎんサステナビリティリンク

ます。 の取り組みの特徴は、2点あると言え 今回寄稿いただきました中国銀行様

取り組みでは、地域課題解決に視点が 的採算に重きを置きがちでしたが、本 課題に焦点を当てた取り組みを行って である従業員から、SDGSへの意識 めよ」と言いますが、自分たちの足元 みを支援している点です。「隗より始 ながっていると考えられます。 あり、付加価値の高い商品の開発につ いる点です。従来の金融機関は、経済 第2に、従業員のSDGsの取り組 第1に、顧客の背後にある地域の諸

とかく企業の社会貢献は、 一人ひとりの生活 今後の社会 一部の部 晴らしいことだと感じます。

改革を進める体制にあることは大変素



Instagram

. KIRINOMORI, OPU

吉備の杜シンポジウム2023を開催しました!

2023年2月22日(水)

創造戦略プロジェクト(PBL演習)を受講した保健福祉学研究科 の池田君、情報系工学研究科北山君、山中君の3名の大学院生が社 会人とともにパネルディスカッションに登壇し、県内企業でのPBL 演習を通じた学びの成果を披露してくれました。また、学外履修者 の社会人の方々にもご登壇いただき、大学院クロスセクション等を 受講したうえでの意見交換を行いました。

会場閲覧およびライブ配信を合わせて約160人にご参加いただき ました。ありがとうございました。

ど根性、

不適な環境下で頑張りぬくイメ

う言葉からは雑草魂に象徴されるように、

ジが湧きます。

でも雑草はもっとスマ





キャリアを磨いて下さい

へ的ネットワークを築き、

楽しく自分の

企業等

後の未来社会で必要です

皆さん、

副専攻

「吉備の杜」

の中で育ち

姿に変化します。

この柔軟さと適応力が今

その環境に適応した 自らの

活史を簡単に変えて、

不適環境に出会うと、





からきました KIBI no MORI 備の杜

『K』IBIの地で成長する

PBL演習を通じて、デザイン学研究科の 小河原佳織さんが作成。

岡山県立大学を中心とした学生が成長す る様子を、若木が空に向かって元気に伸 びてゆく姿に見立てたロゴマーク。

型人材育成」を掲げました。 あたり100年後の杜の姿を描いて、 の字を使ったのは、 と「土」を意味する象形から成っている 神宮の杜を意識しました。 に合う樹種を使いつつ見事なグランドプラ しいと考えました 吉備の杜」 また本プロジェクトの目標として プロジェクト名の 大きく豊かな杜になったからです もこれに見習って成長して欲 明治神宮の杜は造営に 一吉備の杜」 「大地を覆う木」 「雑草」 は 杜



「吉備の杜」創造戦略 プロジェクト推進本部長

岡山県立大学学長

陽子 Oki Yoko

「吉備の杜」創造戦略プロジェクトメンバーシップ

形態や生

学 岡山県立大学・ノートルダム清心女子大学・中国学園大学

岡山県・真庭市・総社市・備前市・赤磐市・笠岡市・津山市・玉野市・井原市・瀬戸内市 自治体

中国銀行・山陽新聞社・RSK山陽放送・おかやまコープ・岡山県立大学協力会・岡山県食品新技術応用研究会・ システムエンジニアリング岡山・岡山県建築士事務所協会・岡山県経済団体連絡協議会・トマト銀行・岡山県 中小企業家同友会・岡山県産業振興財団

(順不同)



未来型プロジェクト、創造戦略プロジェクト〈PBL〉を受け入れてくださる企業を募集しています。 詳細について、ご興味がありましたら、下記までご連絡くださいますようお願いいたします。

岡山県立大学「吉備の杜」推進室 < TEL: 0866-94-2205 E-mail: kibinomori@oka-pu.ac.jp>



文部科学省が取り組む事業で、地域の知の拠点としての大学が、他の大学等や地方公共団体、地域の企業等と協働し、地域 が求める人材を養成するための教育改革を実行するとともに、出口(就職先)と一体となった教育プログラムを実施するこ とで、学生の地元定着と地域活性化を推進します。信州大学、徳島大学、山梨県立大学、岡山県立大学の4大学が選定され ました。